

江戸川区医師会地域医療支援センター

No. 19-015-2015作成
新築
学校/その他

発注者	一般社団法人 江戸川区医師会	カテゴリー				
設計・監理	(株)安藤・間一級建築士事務所	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO ₂ 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB	
施工	(株)安藤・間	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

災害に強い、地域の安全を守る施設

設計概要

1階に夜間・休日急病診療所、訪問看護ステーション、熟年相談室といった医療福祉施設。2～4階に看護専門学校を併設した、若年から老年まで複合的に地域医療福祉を支援する公共性の高い建物である。

三方を住宅に囲まれ、一方に木々の生い茂る公園が広がる。プランニングにおいて、様々な用途が集まる施設特質を活かそうと工夫した。各用途のボリュームを、あたかも抽斗(ひきだし)を開けるかのように前後左右にずらすことで、余白や凹凸を生みだす。それが学生の往来する大階段、公園の樹木と緑が繋がる開放的なルーフトラス、吹き抜けのある交流スペース、最上階の講堂などを形成し空間体験を躍動的にした。

敷地には第二種高度地区(絶対高さ16m)の規制がかかるので、4階の講堂部分の屋根は梁成を抑えた鉄骨造、それ以外はRC造の混構造とし、講堂の大空間を実現した。

1階の診療所は、待合と診察室を建具によって分割可能。感染症・非感染症エリアに分け、感染症が予防出来る。当施設は、防災の観点からも重要な位置づけを持つ。躯体は安全係数を掛けた頑強な作り。その他、防災倉庫、マンホールトイレ、自家発電装置、雨水貯留槽を設置。全館LED採用など。更に、海拔ゼロメートル地帯という場所柄、防潮板の設置を行い、ルーフトラスや屋上も災害時の避難場所として機能するよう計画。施設利用者や地域住民に安心感を与える建物となった。



外観



2階ルーフトラス



4階ルーフトラス

地球温暖化防止と周辺環境への配慮

外構および屋上にルーフトラスを配置し緑化を施すことで、地球温暖化防止と同時に周辺環境へも配慮した。

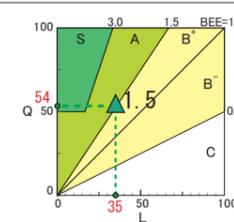


建物データ

所在地	東京都江戸川区
竣工年	2014年
敷地面積	1,904㎡
延床面積	2,793㎡
構造	RC造
階数	地上4階

CASBEE評価

Aランク
BEE=1.5
2010年度版
自己評価



災害等に対する配慮

自然災害に強く、管理しやすい建物とした。

- ・災害時の避難スペースの確保
 - ⇒ 2階ルーフトラス、4階ルーフトラス、4階講堂、屋上避難スペース
- ・耐震性の高い建物
 - ⇒ 重要度係数1.25とし、一般建物より設計時の地震力を割増計算
- ・非常用発電機の設置
 - ⇒ 屋上に24時間連続運転可能(軽油)
- ・防災倉庫の設置(1階、3階、4階)
- ・受水槽の設置(水害を考慮して2階レベルに設置)
- ・災害用マンホールトイレの設置(駐車場部に2ヶ所)
- ・消防設備(防災設備)
 - ⇒ 非常照明、誘導灯、自動火災報知設備、消火器
 - 屋内消火栓設備(屋内階段の下部ピットに消火用水槽)
- ・雨水貯留槽の設置(50t)
- ・避難器具の設置により、階段以外の避難ルートを確認
- ・防潮板の設置(1階出入口に設置)

省エネルギーへの配慮

エネルギー使用量を低減し、ランニングコストを抑えるために、以下の設備を導入した。

- ・照明は、長寿命で電力消費の少ないLED照明器具を全面的に採用
- ・換気設備は、外気負荷低減に配慮した全熱交換機を採用(主要居室)
- ・給水使用量を抑制するために、節水型器具、自動水栓を採用
- ・窓ガラスは、断熱性能を考慮しペアガラスを採用
- ・東面のカーテンウォール部には、断熱だけでなく遮熱効果も高いLow-eペアガラスを採用
- ・窓は、中間期の自然通風を確保出来るよう、開閉可能なものを採用
- ・外壁は、耐久性に優れメンテナンスが容易な磁器質タイルを採用
- ・設備スペースは、メンテナンスがしやすいよう屋上に集約
- ・室内側から清掃がおこなえる引き違い窓を採用
- ・4階東面のカーテンウォール面は、メンテナンス用キャットウォークを設置
- ・管理室は、施設内管理がしやすい位置に計画(駐車場、ゴミ置場の管理)
- ・計量メーター(水、ガス、電気)を各用途毎に計量可能できるように設置

設計担当者

意匠: 桑田具実/構造: 阿部勇治/設備: 富岡浩/電気: 是枝弘規

主要な採用技術(CASBEE準拠)

- Q2. 2. 耐用性・信頼性(耐震性の確保)
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮(外構および屋上に緑化)
- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制(全熱交換機、Low-eペアガラスの採用)
- LR1. 3. 設備システムの高効率化(LED照明の採用)
- LR2. 1. 水資源保護(節水型器具、自動水洗の採用)



夜景



診療所



4階ホール



交流スペース